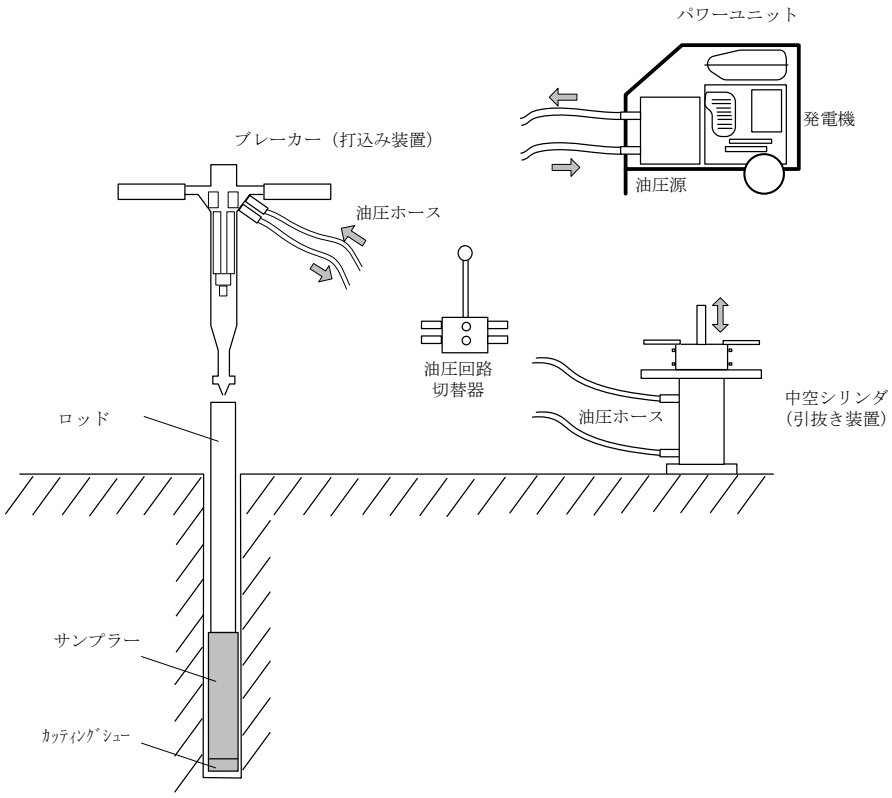
簡易ボーリングによる土壌試料採取

１．説 明 図



簡易ボーリング概念図

２．概　要

小型動力ハンマーによる振動または打撃式簡易ボーリングを基本とし，無水で仮設を要しない。上図のように油圧を介して打ち込む方式(ハンディ ECO)，エンジンが直接ハンドルについている振動方式（SCSC)，モーターの自動落下により打ち込んでいく方式（ドロップヒッター）等がある。掘削に伴うサンプラーは目的によって選択でき，ソイルパックで撹乱した試料が採取できる。ゆるい砂・泥・粘土を対象とし，掘削深度の目安は 10m程度である。

３．目　的

・浅層の土の迅速で効率的なサンプリングに利用する。

・ボーリングマシンが搬入できない狭い場所でのサンプリングに利用する。

４．注意事項・その他

・掘削はN値 15 程度が限界とされており，礫が混じると困難であるため，あらかじめ地質がわかっていることが条件である。

・条件の良い地層で 10m程度掘進可能だが，実際は数mと認識しておいたほうが良い。